

# 平成28年度国際消防救助隊連携訓練の実施

## 参事官

国際消防救助隊は、海外における大規模災害時に被災国政府又は国際機関からの要請に応じて、「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」に基づき派遣される国際緊急援助隊救助チームの中核として、救助活動を実施します。これまで19回の派遣実績があり、直近では平成27年4月のネパール地震災害に派遣されています。

消防庁では、あらかじめ77消防本部599名の隊員を国際消防救助隊員として登録し、国境を越えた被災地で円滑に救助活動を実施するための準備体制を構築しています。

国際消防救助隊員が海外被災地で適切かつ安全な搜索救助活動を実施するためには、国際的なガイドラインに関する知識及びこれに準拠した技術を修得する必要があり、また、国際緊急援助隊救助チームは複数の組織で構成されているため、登録消防本部間及び関係機関との連

携強化を図る必要があります。

消防庁では、平成24年度から複数の消防本部が合同で実施する国際消防救助隊の連携訓練を推進してきたところであり、今年度は、さいたま市消防局及び岡山市消防局において、それぞれ東日本及び西日本の登録消防本部からの参画を得て訓練を実施しました。

さいたま市大宮消防署で開催された連携訓練では、実践的な組織構成下で第三管区海上保安本部及び埼玉県警察本部を含む44名の隊員が国際緊急援助活動に必要な都市型搜索救助技術（ブリーチング、ショアリング、ロープワーク等）を含む想定訓練を実施しました。

天候及び気温の変動が大きい2日間で、実派遣さながらの過酷な条件下での訓練になりましたが、医療班による体調管理のサポートもあり、隊員は高い集中力で訓練に取り組んでいました。

さいたま市消防局	
実施日	平成28年10月27日（木）、28日（金）
実施場所	さいたま市大宮消防署
参加隊員	国際消防救助隊員36名（29消防本部） 第三管区海上保安本部4名 埼玉県警察本部4名
指導者	国際緊急援助隊救助チーム技術検討員1名 国際消防救助隊指導員9名 医療班11名 構造評価員1名



開会式の様子



ロープワークの様子



ショアリングの様子



クリビングの様子



集合写真

岡山市消防教育訓練センターで開催された連携訓練では、基本技術訓練に加え、都市型捜索技術を盛り込んだ想定訓練により、44名の国際消防救助隊員と医療班との連携によるCSR/M（閉鎖空間での救助/医療）能

力の向上が図られました。

想定訓練では、工夫を凝らして実現場に近い環境を作り、その結果、各隊員には実践さながらの高度な判断力を要する活動が求められました。

## 岡山市消防局

**実施日** 平成28年11月17日（木）、18日（金）

**実施場所** 岡山市消防教育訓練センター

**参加隊員** 国際消防救助隊員44名（17消防本部）

**指導者** 国際緊急援助隊救助チーム技術検討員2名  
国際消防救助隊指導員8名  
医療班9名



開会式の様子



基本技術訓練（梁破壊）の様子



ムービングの様子



ブリーチングの様子



集合写真

国際消防救助隊の活動は、被災地に勇気を与える重要な任務です。

今年度、消防庁では、以上2つの国際消防救助隊の連携訓練を実施しました。各登録消防本部においても、平

素から近隣の登録消防本部や関係機関との連携訓練を自主的かつ積極的に行い、海外派遣の際に、適切に対応できる判断力及び技術力の向上に努めて頂くよう、お願いいたします。